

自衛隊体育学校の北京 五輪代表選手を激励

編集委員会

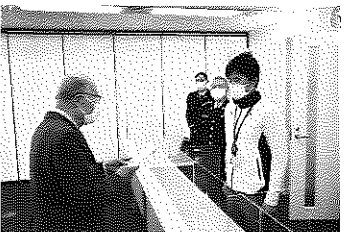
2月4日から20日の間、北京で冬季五輪が開催されました。この原稿の執筆中（2月14日）は、まだ熱戦が続いており、日本人選手の活躍に声援を送っているところです。

自衛隊体育学校からは、バイアスロンに立崎芙由子2尉・田中友里恵2曹・前田沙理2曹・蜂須賀明香2

曹・二反のき枋木司3曹・尾崎光輔3曹の6名、クロスカントリーに山下陽暉^{はるき}2曹の合計7名の陸上自衛官が日本代表選手として参加しています。

五輪開催に先立つ1月24日(月)、偕行社で参加選手の激励会が行われ、選手を代表して山下陽暉2曹が来訪され、深山明敏副理事長から激励品が手渡されました。

深山副理事長からは、「コロナの時期、このような形での激励会となりましたが、国民は体育学校の選手の活躍を注視しています。どうか頑張ってきてください」との言葉がありました。



激励品を手渡す深山副理事長

山下選手からは、激励に対する感謝と「自衛隊体育学校のチームが現地でバックアップしてくれるので、競技に集中しベストを尽くしたい」

との決意の言葉がありました。

山下選手は富山県出身の24歳で、爽やかな自衛官アスリートです。昨年春に早稲田大学を卒業して自衛隊に入隊、今回の五輪参加の栄冠を勝ち取りました。

バイアスロンの選手は、イタリアで開催中の世界選手権に出場中のため、偕行社からの激励品については、体育学校の冬季特別体育室長から届けていただくことにしました。

バイアスロンは、クロスカントリーの「動」と射撃の「静」を組み合わせた複合競技。クロスカントリーは、クラシカル走法とフリー走法の2種類の滑走法のある競技です。

自衛隊体育学校は、冬季競技においても世界の舞台で活躍する自衛官アスリートを育成しており、今後も声援して参りたいと思います。